

## 写真

当館は、前身の愛媛県立美術館時代に寄贈を受けた、世界中の壮大な風景の数々を撮影した白川義員(1935- /四国中央市出身)や、主観主義写真家として現在も注目されている新山清(1911-1969/松山市出身)、また二科展で出品された緑川洋一(1915-2001)や秋山庄太郎(1920-2003)等の作品に加え、それぞれ展覧会で紹介した、白岡順(1944-2016/新居浜市出身)、香川久士(1971- /松山市在住)、佐々木知子(1980- /今治市出身)等の作品や、公開制作に合わせて制作された大竹敦人(1970-)の作品を収蔵しています。白岡順はその極端な黒色もしくは白色のプリントや、客観的な独自のフレーミングで世界でも高く評価されています。また、大竹敦人の作品は、当館のシンボルツリーでもある楠の中庭で撮影された、ゆかりの深い作品となっています。



緑川洋一 MIDORIKAWA Yoichi  
《パリーにて》  
1973(昭和48)年  
41.0×32.0cm



秋山庄太郎 AKIYAMA Shotaro  
《花》  
1972(昭和47)年  
85.5×53.5cm



新山清 NIYAMA Kiyoshi  
《網(1)》  
1950(昭和25)年頃  
41.0×53.0cm



新山清 NIYAMA Kiyoshi  
《網(2)》  
1954-55(昭和29-30)年  
41.0×53.0cm



白岡 順 SHIRAOKA Jun

《Versailles, France 1980年7月8日》

1980(昭和55)年

ゼラチンシルバープリント

16.6 × 24.6cm



白岡 順 SHIRAOKA Jun

《Centre G.Pompidou, France 2006年7月10日》

2006(平成18)年

ゼラチンシルバープリント

16.6 × 24.6cm



大竹敦人 OTAKE Atsuhito

《乳化庭／三本の楠から》

2006(平成18)年

写真／硝子球

9点組 各直径40.0cm



香川久士 KAGAWA Hisashi

《Rock #1》

2003(平成15)年

ゼラチンシルバープリント

61.0 × 50.8cm



佐々木知子 SASAKI Tomoko

《シリーズ「embroidered scenery」より》

2009(平成21)年

タイプCプリント

33.0 × 43.0cm